

養成所ニュース

専任教員の 独り言

20期生のみなさん、合格おめでとございます。福祉人材不足といわれるなか、本養成所は多数の応募をいただき、無事に新年度をスタートすることができました。社会人として仕事や様々な役割をもちながら、あえて資格取得を目指すとうみなさんの志に敬意を表し、先輩となる19期生のみなさんと一緒に、共に学び、成長していく仲間として、みなさんを心から歓迎したいと思います。

数ある資格の中から、みなさんはなぜ「社会福祉士」を選んだのでしょうか。「職場でのキャリア・アップをめざして」、「資格のもつ将来性を見込んで」など、きっかけは様々かもしれません。しかし、多くの方たちの根底にあるのは、身の回りにある様々な問題の解決の糸口を見つけたい、そのために福祉について多くの知識を得て、自分なりに社会に貢献したいといった純粋な気持ちではないでしょうか。

「社会福祉」は20世紀になって成立したとされる若い分野で、この言葉はそれ以前の時代の慈善事業や社会事業とは区別して使われます。現在では「先進国」であることの証としても用いられる「福祉国家welfare state」という言葉は、ナチス・ドイツの「戦争国家warfare state」に対して、社会保障の充実をはかったイギリスが宣伝用語として使ったのが始まりと言われています（『福祉用語辞典』中央法規ほか）。「戦争国家」に対して国民の福祉を目的とした国家が「福祉国家」であるのなら、平和は「福祉国家」の前提であり、福祉の向上を目指す社会福祉士の仕事は平和を追求することにつながります。日本の法律でいえば、憲法9条と社会福祉の基盤となる25条「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」は深い関係にあるのです。日本社会福祉士会も加盟している国際ソーシャルワーカー連盟（IFSW）が、世界中の災害や飢饉だけでなく、各地で引き起こされるあらゆる戦闘や紛争に対して敏感に反応し、声明を発表し続けているのは当然のことといえるでしょう。

日本の社会福祉は戦後まもなく制定された福祉三法にはじまり、高度成長期の社会福祉の基本となった福祉六法で次第にその基盤が拡大され、90年代に行われた福祉八法の改正さらに2000年の介護保険法の成立で、本格的な少子高齢社会への取り組みが始まりました。2006年施行の「障害者自立支援法」の利用者負担制度や、2008年施行の「後期高齢者医療制度」による利用者負担増の意味するところは、このような日本の社会福祉の大きな流れの中で、また世界的な社会福祉をめぐる動きの中でとらえていく必要があります。

戦後の焼け跡から立ち上がり、半世紀以上にわたって管々と築かれてきた「福祉国家」は今、どこへ向かおうとしているのか。「豊かさ」の陰で、ホームレスやワーキングプア、社会的排除などの問題が解決しないのはなぜなのか。本当に支援を必要としている人たちが切り捨てない福祉、持続可能な「福祉社会」はどのようにして実現できるのか。私たちが学び、取り組むべき課題は山積しています。より良い社会の構築にむかって広い視野と見識を持って活動する社会福祉士をめざして、共に学んでいきましょう。

* * * * *

たくさんテキストを前に、ため息をついていませんか？活字に疲れたら、漫画



社会福祉士養成所

専任教員 中野 恵 美 子

はいかがでしょう。最近はずくれた「福祉マンガ」もたくさんあります。「どんぐりの家」（山本おさむ 小学館）は、ろうと知的障害の重複障害をもつ子どもとその家族の物語。同じ作者の『はるかなる甲子園』（双葉社）、『わが指のオーケストラ』（秋田書店）もろう教育を舞台とした秀作です。菅野美穂の主演でテレビドラマにもなった『君の手がささやいている』（軽部潤子 講談社）は成人したろう女性が会社に勤め、結婚し、子育てをしていく物語。

篠原涼子主演でテレビドラマになった『光とともに』（戸部けいこ 秋田書店）は自閉症をもつわが子と共に生きる母親の物語。今、光くんは中学生になっています。若い男性ケアワーカーの成長と、介護の現場を描いた『ヘルプマン』（さか樹里 講談社）は、介護保険制度のわかりやすい解説の書でもあります。「コムスン事件」を予見していたかのような先見性に脱帽。赤羽みちえ『つゆのあとさき』（赤羽みちえ 秋田書店）は特養ホームを舞台として介護の「理想と現実」を描く。特養ホームで実習をする方にお勧めしたいシリーズです。車いすバスケットボール選手の物語『リアル』（井上雄彦 集英社）、最近テレビドラマになった『だいたすき！いゆずの子育て日記』（愛本みずほ 講談社）など、たくさんありますね。他にも知っている方、教えてください。

* * * * *

〔財〕知的障害者福祉協会の出版物
『月刊誌さぼーと』¥580（年間購読料¥6300）
全国の知的障害者施設職員が編集、執筆する歴史と伝統ある業界誌。話題の「障害者自立支援法」が特集されています。

『DNAパラダイス—27人のアウトサイダーアーティストたち』はたよしこ編2003年 ¥2600
エイブルアートともアウトサイダーアートとも呼ばれる、知的障害者たちが描いた不思議な絵や作品。人間にとって表現することはどんな意味をもつのか…いろいろなことを考えさせてくれる作品集。NHK「新日曜美術館」2008年3月2日放送）で紹介された作品も含まれています。

『行動障害の基礎知識』2007年 ¥1890
自傷、他害、こだわりなど多彩な行動をどうとらえ、どのように理解したらいいのか…知的障害児・者施設で実習する方にお勧めしたい一冊。

申し込み先：（財）日本知的障害者福祉協会・出版部 03(3438)0467

通信教育 Q&A 受講生の方からよくある問い 合わせについてお答えします。

Q₁ 引越で住所が変わったのですが？

A ●住所・氏名・勤務先に変更が生じた場合には、すみやかに住所・氏名・勤務先変更届により届出てください。
●上記変更は本養成所ホームページの登録変更フォームより登録変更することも可能です。
●住所を変更した場合は、上記届出とあわせて、郵便局にて転送手続きを行ってください。

Q₂ 修了証明書を請求したいのですが？

A ●国家試験の受験等、本養成所修了後に修了証明書が必要な場合は、次の2点を用意し、本養成所庶務部あてに請求してください。
①修了証明書交付願（受講の手引・ホームページに様式添付）、
②返信用封筒（返信先を明記し、80円切手を貼付したもの）
●交付に際して、手数料は必要ありません。そのため、返信用封筒がない場合や交付願による請求でない場合は、発行できませんので、ご注意ください。

国家試験対策 おすすめHP

http://www.geocities.jp/
southernwind410/index.html

第12期本養成所修了生で社会福祉士の南牧生さんが運営している国家試験対策HPを紹介します。

Q₃ レポートを郵送する際、1教科毎に1枚の封筒で郵送した方がよいのでしょうか？ また、複数教科を1枚の封筒に同封しても良いのでしょうか？

A ●複数教科のレポートをまとめて送付してください。（そうしないと封筒が足りなくなります。また、費用も少なくなります。）

Q₄ 時間を作れる時期に集中してレポート作成に取り組みたいのですが、教科によって提出期間が定められています。レポートを早めには書き、提出期間に合わせて郵送するという学習方法は良いのでしょうか？ また、スクーリングを受けてから書いた方が良い教科などもあるのでしょうか？

A ●学習指導書に〔別表1〕養成課程・〔図表2〕授業計画が示されています。これは、社会福祉士養成施設指定規則に定められた学習時間を図表化したもので、この印刷授業時間数が自宅学習する時間であり、授業計画が学習するうえでの流れとなります。このプログラムを1日に学習すべき時間数に換算すると約6時間程度を学習するよう設定されています。ただし、通信教育ですので、学習する時間やリズムは人それぞれに異なりますし、把握できません。事務局では、提出期間を厳守することで上記を満たす判断基準としています。また、スクーリングは事前学習のうえ、望むことを前提に日程を組んでいます。

平成20年度 購読のご案内 2008年4月号(No.615)～2009年3月号(No.626)

suppOrt

- 毎月15日発行
- A4判 68ページ
- 1部 580円(税・送料)
- 年間購読料 6,300円(税・送料)

★当協会加入施設職員の方は5,000円で年間購読できます(1部 470円)。

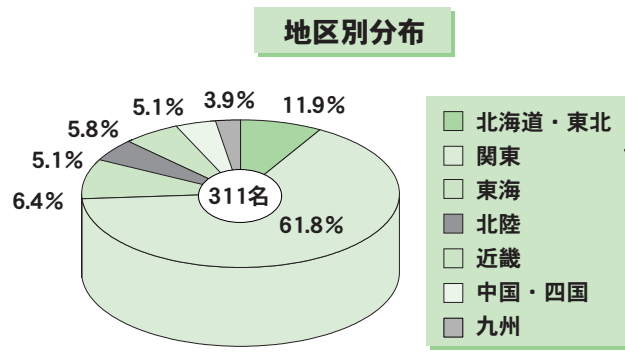
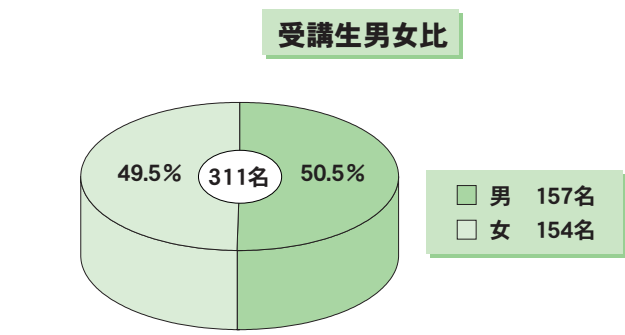
お申し込みは _____

当協会 『さぼーと』係まで ☎ 03-3438-0467 FAX 03-3431-1803
http://www.aigo.or.jp/

※養成所に対するご要望・ご意見等ございましたら、ご連絡ください。 yoseijo@aigo.or.jp

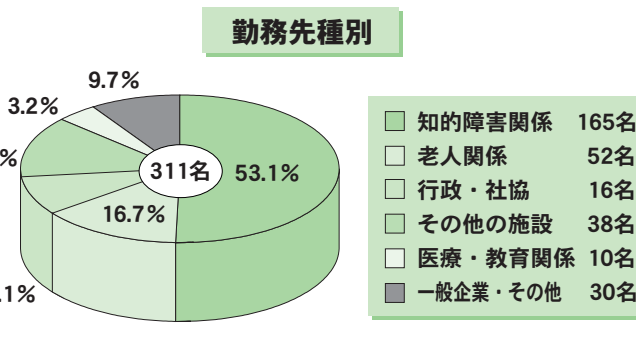
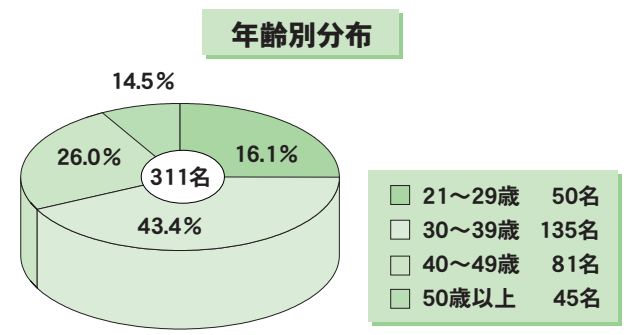
第20期生の概要（平成20年4月1日現在）

第20期生社会福祉士養成所の受講生は、311名です。概要については下記の通りとなります。



●応募状況（過去3年間）

年度（期生）	応募者数	入学者数
平成18年度（18期生）	454名	324名
平成19年度（19期生）	331名	297名
平成20年度（20期生）	391名	311名



第20回国家試験合格状況

第20回社会福祉士国家試験において本養成所より253名が合格しました。昨年度（第19回試験）は196名でした。

これまでの国家試験の結果

	受験者数 (名)	合格者数 (名)	合格率 (%)
第1回試験	1,033	180	17.4
第2回試験	1,617	378	23.4
第3回試験	2,565	528	20.6
第4回試験	3,309	874	26.4
第5回試験	3,886	924	23.8
第6回試験	4,698	1,049	22.3
第7回試験	5,887	1,560	26.5
第8回試験	7,633	2,291	30.0
第9回試験	9,649	2,832	29.4
第10回試験	12,535	3,460	27.6
第11回試験	16,206	4,774	29.5
第12回試験	19,812	5,749	29.0
第13回試験	22,962	6,074	26.5
第14回試験	28,329	8,343	29.5
第15回試験	33,452	10,501	31.4
第16回試験	37,657	10,733	28.5
第17回試験	41,044	12,241	29.8
第18回試験	43,701	12,222	28.0
第19回試験	45,022	12,345	27.4
第20回試験	45,324	13,865	30.6
合計	386,321	110,923	28.7

●第20回社会福祉士国家試験合格基準●

次の2つの条件を満たした者を合格者とする。

1-1. 総得点150点に対し、得点87点以上の者（総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

1-2. 試験科目の一部免除を受けた受験者（社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第5条の2）総得点70点に対し、得点44点以上の者（総得点の60%程度を基準として、問題の難易度で補正した。配点は1問1点である。）。

2. 1-1又は1-2を満たした者のうち、1-1に該当する者については、試験科目（ただし、社会福祉援助技術については、「一問一答問題」と「事例問題」をそれぞれ別個の試験科目とみなす。）14科目（1-2に該当する者については、6科目。）の各科目すべてにおいて得点があった者。

第20回社会福祉士国家試験受験状況

受験者	合格者	合格率
45,324人	13,865人	30.6%

◆国家試験合格者の声◆

米世 伸之さん 「私の合格方法」

この養成所ニュースを読んでいる皆さん、日本知的障害者福祉協会の社会福祉士養成所の合格者・合格率がいくらかご存知ですか？ 昨年は196人、28%、今年は253人、38%です（福祉新聞社による）。18期の修了生は318名ですから、18期の修了生と同数以上の17期以前の修了生の方が試験を受けています。このことを皆さんはどう考えますか。これから述べる方法は最短での合格方法ではありませんが、皆さんが一人でも、合格のためにプラスになり、合格後も習得した知識をいろいろな活動の中で発揮し、専門職としてのさらに向上していったらいいと思っています。

まず、自己紹介をしますと、私は、東京の区内に住む福祉とまったく関係していない仕事をしている50歳を超えた中年サラリーマンです。若いときに比べ格段に記憶力も劣化しています。そのような私が、如何に1回で試験に合格するか2年間計画を立てました。

1. 福祉新聞を精読する。2. 2年目の9月までに試験科目の13科目を一通り完成する。3. 10月の社会福祉士会か東京アカデミーの模擬試験を受ける。4. 11月の養成校協会の模擬試験を受ける。5. 12月に予備校の模擬試験を受ける。6. 試験日直前にホテルに缶詰になり、19回試験問題を同じ時間配分で解く。の6点です。

では、その計画の内容を具体的に述べます。

1. 社会福祉にかかる最新の社会情勢を把握しておく必要があります。私は2年目から福祉新聞を購読しましたが、1年目からの精読が良かったと思います。

2. 13科目の完成には、妻（18回合格者）のおさがりの中央法規の一問一答と医学評論社の国試対策を使いました。何故、テキストではなく過去問か。それは、試験問題はテキストのように明瞭な記述でない場合があります。一問一答で知識の蓄積が必ず必要です。解説を含めてよく理解していないキーワードのみのレジュメを作り、蓄積（暗記）をします。また、一問一答だけでは不十分です。問題の多くは5択です。不明瞭な出題内容でも出題者が求めている正解に近づくためには、過去問を何回も解くことで、選択する感覚が付きまします。

3. どの程度力がついているか、10月に模試を受けます。私は社会福祉士会の模擬試験を受けましたが、東京アカデミーでも

いいと思います。本番の試験と同じ気構えで臨みます。両方とも各県の県庁所在地で会場受験ができたと思います（間違っていたらごめんなさい）ので、是非会場で受験してください。何故、会場受験か。みんなできそうに見える人たちの中の不安の中で模試を受けるためです。自宅受験ではその緊張感はありません。社会福祉士協会の問題は実際の試験内容より若干難しいと思いますが、それまで勉強をしていれば結果が出ます。新しい知識は、レジュメに付け足して記憶します。特に、模試の自己採点が低い科目を中心に過去問と模試問題の解説を含め勉強します。（私は原論でした。）

4. 10月の模試での弱点を中心に勉強した結果を確認するため、11月は養成校協会の模試を受けることを勧めます。多くの方は自宅受験と思いますが、私は、11月中央法規が実施する会場模試（養成校協会の内容）を受けました。関東、近畿の方は、東京・大阪での会場受験を勧めます。

5. 12月は東京町田のアルファ予備校の模擬試験を会場受験しました。模試を本番とみなして、勉強にメリハリを作るため、何回も模試を受けました。

6. 東京23区に住んでいますが、ホテルに3日缶詰になりました。日常生活（惰性）の延長で試験を受けないようにするためです。また、直前に前年の過去問を解いたのは直前の自分の実力を認識するためです。（2でやった過去問には前年分は入れません）

以上、自分として、やれることは全てやっただけです。結果、10月95点、11月106点、12月105点、1月の前年過去問は110点、本番は115点でした。皆さんは、これらを全て真似する必要はないと思います。活用できることを選択して90点でいいので効果的に合格してください。

最後に、私は、4月に社会福祉士会に入会し、社会福祉士としての研修を始めました。5月は杉並区社会福祉士会の定例会（倫理綱領）、中野区社会福祉士会の講演会（自立支援法の現状）、東京社会福祉士会の研究大会（職業倫理）、6月は横浜での全国大会に出席しました。社会福祉士の資格は社会福祉士という道を歩む出発点に立ったと思っています。皆さんも、合格率より入会が厳しい（入会率が低い）社会福祉士会に入会し、自己研鑽し、専門能力を高めながら、社会福祉士としての行動をしていきませんか。

◆社会福祉士の動向◆

○「社会福祉士及び介護福祉士法」改正【平成19（2007）年11月28日成立、12月5日公布】

＜改正の背景＞

・近年の介護・福祉ニーズの多様化・高度化に対応し、人材の確保・資質の向上を図ることが求められている

＜改正ポイント＞

①定義規定の見直し、②義務規定の見直し、③任用・活用の促進【平成19（2007）年12月5日施行】、

④資格取得方法の変更【平成21（2009）年4月1日施行】

＜社会福祉士に求められる役割＞（社会保障審議会福祉部会「介護福祉士制度及び社会福祉士制度の在り方に関する意見」より）

・介護保険制度の施行等による措置制度から契約制度への転換など、社会福祉士を取り巻く状況は大きく変化している

①福祉課題を抱えた者からの相談に応じ、必要に応じてサービス利用を支援するなど、その解決を自ら支援する、②利用者がその有する能力に応じて、尊厳を持った自立生活を営むことができるよう、関係する様々な専門職や事業者、ボランティア等との連携を図り、自ら解決することのできない課題については当該担当者への橋渡しを行い、総合的かつ包括的に援助していく、③地域の福祉課題の把握や社会資源の調整・開発、ネットワークの形成を図るなど、地域福祉の増進に働きかける

●「社会福祉士及び介護福祉士法」（主要部分抜粋：下線部分が改正点）●

(定義)

第2条

この法律において「社会福祉士」とは、第28条の登録を受け、社会福祉士の名称を用いて、専門的知識及び技術をもって、身体上若しくは精神上の障害があること又は環境上の理由により日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言、指導、福祉サービスを提供する者又は医師その他の保健医療サービスを提供する者その他の関係者（第47条において「福祉サービス関係者等」という。）との連絡及び調整その他の援助を行うこと（第7条及び第47条の2において「相談援助」という。）を業とする者をいう。

(誠実義務)

第44条の2

社会福祉士及び介護福祉士は、その担当するものが個人の尊厳を保持し、その有する能力及び適性に適し自立した日常生活を営むことができるよう、常にその者の立場に立つて、誠実にその業務を行わなければならない。

(連携)

第47条

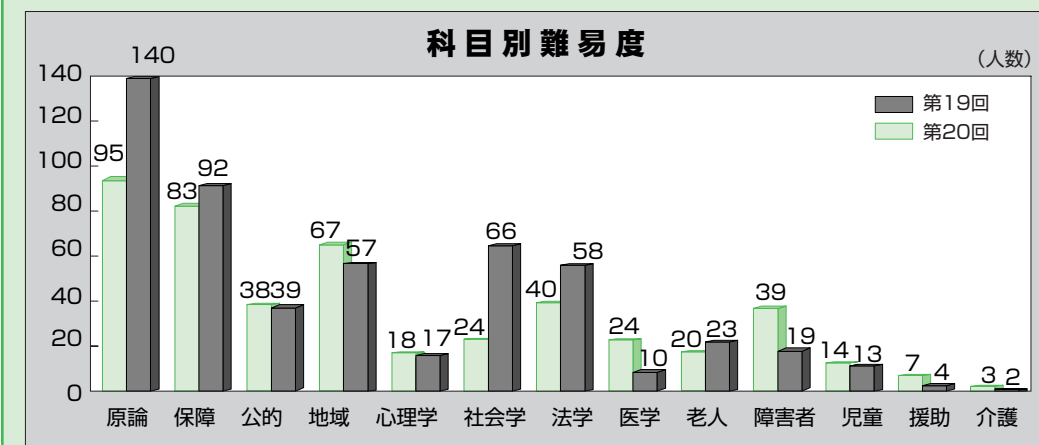
社会福祉士は、その業務を行うに当たっては、その担当するものに、福祉サービス及びこれに関する保健医療サービスその他のサービス（次項において「福祉サービス等」という。）が総合的かつ適切に提供されるよう、地域に即した創意と工夫を行いつつ、福祉サービス関係者等との連携を保たなければならない。

(資質の向上)

第47条の2

社会福祉士又は介護福祉士は、社会及び介護を取り巻く環境の変化による業務の内容の変化に適応するため、相談援助又は介護等に関する知識及び技能の向上に努めなければならない。

第20回国家試験に関するアンケートについて



平成19年10月に修了した第18期生318名を調査対象とし、216名（①受験をした189名、②申込をしたが当日受験をしなかった9名、③申込をしなかった18名）からの回答が得られました。

左図は受験者の意見を参考に科目別難易度を示したグラフです。

社会福祉原論・社会保障論・地域福祉論・法学・障害者福祉論の順に難しいと回答しています。

なお、昨年度（回答数211名）と比較すると障害者福祉論の難易度が高くなっています。

※厚生労働省へ報告の関係上、現在もアンケートは回収していません。なお、回答がない方には、催促の連絡をする場合がありますのでご了承ください。

◇残念ながら合格できなかった方々からの反省とコメント◇（アンケートより抜粋）

・学習していくのに「人名」と「行った事」に対して、関係付けがうまくいかなかった。又、年表を頭に入れておけば良かった。・年末年始に体調を崩してしまい、あまり勉強できなかった。来年は体調管理もしっかりしたいと思っています。仕事で疲れ勉強しない日もあったので、毎日少しでもやる事が大事だと思いました。・コツコツやれば必ず合格すると思います。・もう少し勉強スケジュールの検討が必要だった。・不得意の科目を克服できなかったのが結果として出てしまった。・問題を解くスピードアップが必要であった。・全体的に学習する時間が足りなかった。・受験対策セミナーに行ったが、ついていけなかった。・日々の学習の大切さを感じました。子育て、学習、仕事の両立は難しいと感じていましたが、他の人はみんなこなしているのだから、いつかできる。・きっちり時間をかけて過去問をやらないうけないと思った。・今回は今までと傾向が変わったように感じました。過去問だけでなく、基本的な知識も習得する必要性を感じました。 ※その他のコメントにつきましてはホームページに掲載しておりますのでご覧ください。